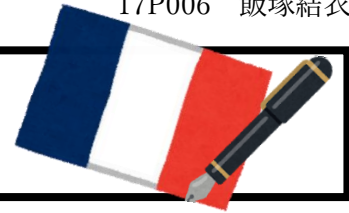


# フランス便り

～2019年1月～



## 【はじめに】

Bonne année! あけましておめでとうございます! ストラスブールに留学中の飯塚です。2019年のお正月はフランスで過ごしました。私は毎年お正月は必ず実家で過ごしていたので今年のお正月は少し寂しかったですが、海外でお正月を迎える機会もめったにないので日本と違った雰囲気を感じることで良い経験になりました。それでは、フランスのお正月を紹介していきます!

## 【フランスの年越し】

私は寮に住んでいるので年越しをするときも部屋にいました。1月1日を迎える15分前ぐらいから外でちらほらと爆竹の“パボン”という音が鳴り始めました。気になったので窓を開けて外を見ていましたが、徐々に音も増えはじめ、向かいのアパートの住人さんもちらほら窓から顔を出しはじめました。年越し10秒前には道を歩いている人、窓から顔を出している人みんなでカウントダウンが始まり、2019年1月1日を迎えました。私の寮は住宅街にあるのですが、近くではたくさんの花火が上がリ、道端では爆竹が鳴り、車はクラクションを鳴らしてとても賑やかな年明けでした。また人々は「Bonne année!」(フランス語のあけましておめでとう)と口々に叫んでいて、前に住んでいるアパートの人のことを私は全く知らないのですが、手を振りながら「Bonne année!」と私に向かって言ってくれたのがとても嬉しかったです。花火や爆竹はみんなセルフでやっているの目の前で花火が上がったり、火花が落ちてきたりしていました。フランスの道には普段からたくさんの車が縦列駐車をしているので、車に爆竹が当たらないか見ているこっちがひやひやしました。こういう花火や爆竹、叫び声など賑やかで私は好きなのですが、日本の住宅街でこれをやるときと苦情殺到するだろうなと思いつつ見っていました。日本とは違ったフランスの新年を体験出来て良かったです。(ちなみに爆竹は2時過ぎもところどころでやっていました。)

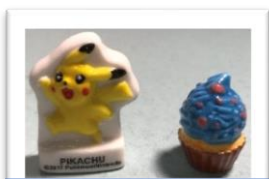
## 【galette des rois (ガレット・デ・ロワ)】

フランスでは新年に食べるケーキがあります。それが galette des rois (ガレット・デ・ロワ) です。galette は円く薄いもの、roi は王様という意味です。ガレット・デ・ロワは中身にアーモンドクリームが入ったパイです。しかし、フランスの北部と南部で少し違うようで、フランス北部はパイ生地にアーモンドクリームが入っているもの、フランス南部はブリオッシュ生地にドライフルーツやオレンジを飾ったリング状のもの(ブリオッシュ・デ・ロワ)を食べるようです。私が住んでいるストラスブールはフランス北東部にある街なので、アーモンドクリームが入っているパイを街中でたくさん見かけました。このケーキの中には fève (フェーブ)



galette des rois (ガレット・デ・ロワ)

という陶器で作られた小物(人形)が入っています。このフェーブが入っているケーキを食べた人はその日1日王様になることができ、また1年間幸福が続くといわれています。ガレット・デ・ロワは伝統的には1月6日の公現祭を祝って食べるようです。公現祭というのは三賢者が生まれたキリストに会い、キリストの誕生をお祝いした日です。しかし、あまり日にちにこだわっていないためか、正月前からパン屋さんやケーキ屋さん、スーパーでも売られはじめ、1月中旬まで売っているのを見かけました。私もケーキ屋さんでスーパーでガレット・デ・ロワを買ってみました。中身ですが、ケーキ屋さんにはアーモンドクリーム、スーパーの方はブルーベリージャムが入っていました。もちろんどちらもフェーブがはいっており、ケーキ屋さんの方はカップケーキ、スーパーの方はピカチュウが入っていました。(まさかここでピカチュウに出会うとは思っていませんでした(笑))フェーブもお店によっていろいろ違うようで集めている人もいます。どちらも美味しかったです。やはりケーキ屋さんの方がパイがサクサクしていて美味しかったです。最近では日本のケーキ屋さんでもよく見かけるようになったので、来年はぜひガレット・デ・ロワを食べてフランスの新年を感じてみてください。



ガレット・デ・ロワに入っていたフェーブ

## 【SOLDES(ソルド)】

フランスでは年に2回(夏と冬)に5週間にわたってSOLDES(ソルド)というバーゲンが開かれます。実はこのソルドは期間や宣伝方法の仕方など法律で厳格に決められているようです。2019年の冬のソルドは1月9日(水)~2月19日(火)まで開かれています。(国境付近や海外県ではソルドの期間が変わっているところもあるようです。ストラスブールは例外地域ではないので上記と同じ期間です。)初日からどのお店も50%引き以上のところが多く、たくさんのお客さんで賑わっていました。私のクラスメイトはソルドが始まる数日前にお店をまわり買う商品を事前にチェックしておき、当日授業が終わると走ってお店に向かっていました(笑)。このソルドは日にちが経つと2度目の値下げ、3度目の値下げなどどんどん安くなっていきます。そのため迷っている商品があるときはみんなこまめにチェックしているようです。私はこの間友達のショッピングについていきましたが、あるお店では洋服が50%引きから70%引きになっており、さらに2つ買うと安い方が15%引きされると書いてありました。このお店だけが特別ではなくほかのお店も同じくらいに安くなっています。この期間が終わると夏のソルドまであまり安くなる時がないようなので、私も春の服などいろいろ買い込んでいます。フランスのソルドはブランド品も他のお店と同じように安くなります。もし好きなブランドがあればぜひこのソルドに合わせてフランスに旅行に来てもいいかもしれません。ちなみに2019年の夏のソルドは6月26日(水)~8月6日(火)のようです。(上記でも書いた通り、期間が違う場所もあるので気を付けてください。)



SOLDES(ソルド)中の靴屋さん

## 【デモについて】

日本でも少し前にニュースになっていたと思いますが、フランスでは燃料価格の高騰に対するデモが行われています。私が住んでいるストラスブールも例外ではなく毎週のようにデモが行われています。在ストラスブール日本国総領事館と在フランス日本国大使館からはこのデモに対する注意のメールが11月下旬から毎週必ず送られてくるようになりました。(今も毎週必ずメールがきます。)デモは毎週土曜日に開かれるため、私は土曜日の外出は避けるようにしていました。そのため、デモ隊に出会う機会はありませんでしたが、2度デモ隊を目撃しました。1度目は11月17日のスーパーからの帰り道です。デモ隊が集まっている広場の近くに交差点があったのですが、信号が青になっても車が進めないくらい渋滞しており、いたるところからクラクションの音が聞こえていました。また広場では誰かが演説しておりそれに合わせて歓声や拍手、ラッパの音なども聞こえていました。近くの歩道にも黄色いベストを着た人がたくさんいました。2度目は12月8日に祭の窓からデモ隊の行進を見ました。たくさんの人々が参加しており、横断幕をもった人や自分たちの主張をかいた段ボールをもった人、自転車を片手に行進する人など様々でした。行進は20分以上続いていたため本当に多くの人々が参加しているのだとその時改めて実感しました。最近市内にあるレピュブリック広場に集合し集会を開いたあと欧州議会の前で抗議活動をし、その後行進することが多いようです。デモに巻き込まれないように気付けながら生活していきたいです。



部屋から撮影した12/8のデモ行進

## 【おわりに】

1月は私にとっていろいろな変化があった月でした。語学学校のクラスが1つ上がったためクラスメイトも変わり、また1から友達作りが始まりました。しかし、クラスが変わったことにより日本人に会うことができ、その人のおかげで新しい友達ができました。またその人とはフランス語が公用語に入っているルクセンブルク大公国へ一緒に日帰り旅行にも行きました。(これは次回のフランス便りに載せようと思っています。)先日その人はリヨンに移動されたためまた近くに日本人がいなくなりましたが、たくさんいろいろなことを教えてもらったのおかげで私の行動範囲も広がりました。ストラスブールも1月中旬まではクリスマス感がまだ漂っていましたが、片付けが始まりすっかり普通の街に戻りました。街の中心にあった1番大きなクリスマスツリーも先日広場にいくと跡形も無くなっていました。(どうやら毎年クリスマスのために運ばれてくるようです。)1月に入り寒い日が増えましたが風邪を引かないように元気に過ごしたいと思います。それではまた! Au revoir!